

**千葉大学 国際高等研究基幹
テニュアトラック教員募集要項**

公募 内容	募集職名	助教（テニュアトラック制を適用。任期5年）
	募集人員	1名
	公募内容	本公募では、千葉大学国際高等研究基幹に所属し、地球観測衛星ビッグデータとデータサイエンスの活用による地球環境・災害予測研究に関する研究活動に積極的に貢献できる方を公募します。また、千葉大学・環境リモートセンシング研究センターを兼務し、共同利用・共同研究拠点としての研究活動に従事して頂きます。そのため、千葉大学・環境リモートセンシング研究センターが有するリモートセンシング研究に関わる先端的施設・設備・データベースを活用し、データサイエンス技術との融合による新しい環境予測研究分野の開拓を志す方からの意欲的な応募を期待します。なお、千葉大学大学院等における教育活動にも従事していただきます。
	所属	国際高等研究基幹
	専門分野・求める人材	環境リモートセンシング研究センターで公開する静止気象衛星ひまわり8・9号をはじめとする、各種地球観測衛星データセットを活用した陸域環境モニタリングに関する研究。特に、各国の静止気象衛星を複合利用する研究、静止気象衛星を活用した新たな陸域モニタリングへの展開を目指す研究、衛星観測とモデルの統合を介したデータ駆動型のモデリング研究などの、地球観測ビッグデータを活用した診断型の地球環境モニタリング研究を推進できる方。
	担当業務	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の専門分野に関する研究活動（当該分野における国内外の学術動向調査を含む） ・国際高等研究基幹開催イベントへの参加・協力 ・上記専門分野に基づく大学院及び学部における教育活動
	採用時期	2023年4月（審査・内定：～2023年3月）予定
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ① 博士の学位を有する者 ② 上記の研究分野において優れた研究業績がある者 ③ 国際的な視野を有し、熱意をもって研究・教育を推進できる者 ④ 静止気象衛星データを用いたアルゴリズム開発、環境モニタリングの業績を有する方が望ましい。 	

待遇 ・ 所属等	給与等	本学の新年俸制給与規程に基づき支給する。
	勤務時間	裁量労働制
	休日	週休日（土曜、日曜）、祝日及び12月29日から翌年1月3日（ただし、週休日及び祝日等に勤務を命じる場合がある）
	休暇等	年次有給休暇、特別休暇（産前産後休暇、忌引休暇等）、病気休暇、育児休業等
	福利厚生	文部科学省共済組合に加入
	任期	採用日から5年間とする。 ・採用から原則3年目に中間評価を実施、5年目に審査の上テニュア職の採用可否を決定する。（極めて優れている者は、早期にテニュア職採用の可能性がある。）
	所属等	所属先：国際高等研究基幹、兼務先：環境リモートセンシング研究センター
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、環境リモートセンシング研究センターを兼務する。 ・原則として、テニュア職採用後は、環境リモートセンシング研究センターの承継教員枠への配置換とする。 ・本テニュアトラック教員の研究活動を支援するメンター教授を置き、テニュア獲得と独立を目指し、テニュアトラック期間中はメンター教授とともに、独自の研究推進のサポートを行う。 	

提出書類	<p>① 個人調書（様式1）</p> <p>② 環境リモートセンシング研究センター外の方からの推薦書1通</p> <p>③ 主要論文別刷（各1部）5編程度</p> <p>④ これまでの研究・教育活動の説明（A4用紙2枚程度）</p> <p>⑤ 国際高等研究基幹の教員として研究活動を行うにあたっての抱負等（A4用紙2枚程度）。</p> <p>※提出書類は全てについて電子媒体（MS Wordファイル及びPDFファイルの2つのファイル形式）により提出すること。</p> <p>※②～⑤については様式任意とする。</p>
-------------	--

提出締切日	令和5年2月3日(金) 必着
書類提出先	千葉大学研究推進部研究推進課企画係（国際高等研究基幹担当） (Mail : iaar-office@chiba-u.jp)
留意事項	<p>① 応募書類は、本選考以外には使用はせず、原則として返却しません。選考後は責任をもって破棄します。</p> <p>② 選考過程で面接を実施する場合があります（旅費は自己負担）。</p> <p>③ 教育研究業績が同等であれば、女性、外国人を積極的に採用します。</p>
問合せ先	千葉大学研究推進部研究推進課企画係（国際高等研究基幹担当） (Mail : iaar-office@chiba-u.jp)

【国際高等研究基幹について】

国際高等研究基幹は、学問の多様性の尊重、学際領域の開拓及び新たな価値を創造するイノベーション創出を推進し、我が国の社会・経済・文化の発展に資することを目的として、令和4年4月に設立した組織です。同基幹では、千葉大学の強みと成り得る優れた中堅・若手研究者グループによる飛躍的な研究を支援するとともに、次世代を先導する中堅・若手研究者の育成を支援することを主な業務としています。